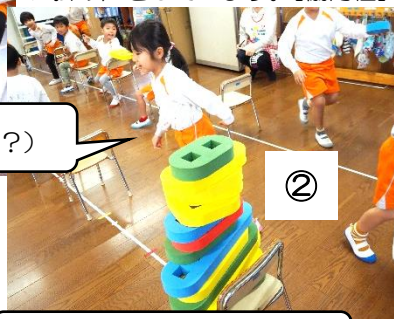
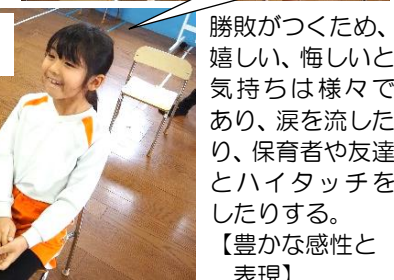


活動名「ゲーム遊びをしよう！」	園児の姿(写真等)	エピソード
①  体を動かすゲーム遊び【健康な心と体】 はいっ！はい！！ 次の園児が受け取りやすいように掛け声をしています。【協同性】 (バランス大丈夫かな…?) 長い・短い・長方形・正方形、様々な形や数があるため、上に積み上げる際に気を付けなければなりません。 また、勝敗を決める際に、みんなで声を揃えて、数を数えます。 【量・図形、文字等への関心・感覚】 ②  数えて、勝敗を決めよう！ ③  (僕は次のゲームができるよう、始めの場所にブロックを戻そう！) ④  どうしたら、勝てるかな？作戦を立てよう！ ゲームのルールがある中で、「勝ちたい」というひとつの目標に向かって、自分の感じたことや考えたこと、みんなで意見を出し合います。 【道徳性・規範意識の芽生え】 【思考力の芽生え】 【言葉による伝え合い】 ⑤  勝敗がつくため、嬉しい、悔しいと気持ちは様々であり、涙を流したり、保育者や友達とハイタッチをしたりする。 【豊かな感性と表現】	① 条件付きでブロックを後ろの園児に渡していきます。 ・ゲームをする中で、保育者が他児の良い姿を共有することで、掛け声や渡し方などに工夫が見られました。 ② 後ろの園児は大型ブロックを椅子の上に積み上げていきます。 ・倒れる経験を通して、バランスを考えなければならないことに気付きます。 ③ 担任の笛の合図で終了。積み上げたブロックの数をみんなで数えます。 ・「負け」が分かったときの表情。 ・保育者が負けた悔しさや悲しさに寄り添いながらも、作戦を立てる時間を設け、その気持ちをバネにすることで次の意欲ややる気に繋がります。 ④ 各チーム、ホワイトボードに出た意見を書き出していきます。 ・作戦を立てることで、「次は勝つぞ！」というより強い気持ちが芽生えます。 ・作戦を立ててる間ブロックを始めるの場所に戻します。(援助が必要な子) ⑤ ゲーム終了後、各チームの作戦を発表し、活動の振り返りを行います。 ・勝つことはできなかったが、作戦を褒められたこと、最後は上手に積み上げられたこと、楽しく活動できたことに対する満足感や達成感、充実感を味わいます。	そう組で大型ブロックを使い、2チームに分かれゲーム遊びを行いました。 ・担任からルールについて視覚的な情報も含め、説明がありました。
観点 () 主体的学び () 対話的学び () 深い学び	観点に○をつけてください。	
工夫等よかった点	もう少し改善したい点	
・以前にもしたことがある活動であり、各チーム名や並び順も決まっていたため、よりチームとしての団結力や協調性が育まれ、「勝ちたい」というひとつの共通の目標が主体的に取り組む姿に繋がったのではないかと。 ・繰り返すだけでなく、作戦を立てる時間を設けることで、他児の思いや考えにも気付き、新しい発見や学びから「やってみよう」「取り入れてみよう」と主体的に取り組む時間が持続されたのではないかと。	・負けたチームが作戦の中で、ブロックの渡し方について、「右・左・上どこからでも良いとより次の人に渡しやすい」という意見が出ていた。そのため、それを伝えられる場(ルールを決める場)があっても良かったのではないかと。	

